

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 シンフォニアテクノロジー株式会社
コード番号 6507 URL <https://www.sinfo-t.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 新一

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 総務秘書グループ長 (氏名) 中村 達也

TEL 03-5473-1800

四半期報告書提出予定日 2024年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	68,619	4.2	4,634	23.3	5,155	20.8	3,580	22.6
2023年3月期第3四半期	71,656	15.0	6,044	90.2	6,510	93.5	4,628	99.5

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,606百万円 (19.3%) 2023年3月期第3四半期 4,698百万円 (121.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	127.00	
2023年3月期第3四半期	164.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	126,521	66,087	52.2
2023年3月期	127,321	62,608	49.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 66,087百万円 2023年3月期 62,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		75.00	75.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	8.1	8,700	25.2	9,000	25.0	6,200	23.4	219.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	29,789,122 株	2023年3月期	29,789,122 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,594,413 株	2023年3月期	1,593,904 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	28,195,012 株	2023年3月期3Q	28,192,629 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(2024年3月期3Q 167,500株、2023年3月期 167,500株)が含まれております。また、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期3Q 167,500株、2023年3月期3Q 170,580株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、連結業績予想についての事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

※ (別添資料) 2024年3月期〔2023年度〕 第3四半期決算補足説明資料(連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における当社グループを取り巻く経営環境は、2022年度後半からの半導体メーカーの在庫調整の遅れにより、半導体製造装置の需要は引き続き低調に推移いたしました。また、FA関連分野についても、中国市場の自動化投資の回復が鈍く、需要は伸び悩みました。

しかしながら、今後、半導体は戦略物資と位置付けられることから、世界各国でサプライチェーンの強化に向けた整備計画が進むと考えられます。また、中期的には自動車の先進運転支援システムや、AIアプリケーションがデータセンターからパーソナルデバイスへと広がる動きを見せていることから、半導体関連市場の回復は確実であると予想されています。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、受注高は792億63百万円(前年同四半期比15.0%減)、売上高は686億19百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。損益面につきましては、営業利益は46億34百万円(前年同四半期比23.3%減)、経常利益は51億55百万円(前年同四半期比20.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億80百万円(前年同四半期比22.6%減)となりました。

なお、当社グループの事業構造として、公共・社会インフラ等の設備関連機器の売上が第2四半期(7～9月)及び第4四半期(1～3月)に集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節的変動があります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

クリーン搬送システム事業は、半導体製造装置メーカーの需要低迷が継続していることから、受注高は146億4百万円(前年同四半期比35.8%減)となりました。

売上高は157億21百万円(前年同四半期比26.9%減)となり、損益面につきましては、売上高の減少により営業利益は22億50百万円(前年同四半期比52.0%減)となりました。

モーション機器事業は、半導体製造装置メーカーの需要低迷により、半導体製造装置向けアクチュエータやFA向けクラッチブレーキが減少したものの、防衛省向け修理品や基幹ロケット向け電装品の増加等により航空宇宙関連機器が増加したことから、受注高はほぼ前年並みの296億46百万円(前年同四半期比0.4%減)となりました。

売上高は、半導体製造装置向けアクチュエータの受注が減少したことから、252億91百万円(前年同四半期比4.0%減)となりました。損益面につきましては、売上減の影響はあったものの、航空宇宙関連機器の採算改善により、営業利益は13億46百万円(前年同四半期比5.4%増)となりました。

パワーエレクトロニクス機器事業は、受注高は186億5百万円(前年同四半期比24.0%減)となりました。受注高は前期と比較し減少しておりますが、前期の社会インフラ関連の大口受注を除いたベースでは、EV需要が旺盛な自動車用試験装置が好調であり、前期比で増加しております。

売上高は、自動車用試験装置の増加、LNG搬送ポンプ用モータ等の産業用機器、及び航空機用整備電源の増加により、143億16百万円(前年同四半期比15.7%増)となりました。損益面につきましては、売上増の影響はあったものの振動機器が低調だったこともあり、営業利益は1億48百万円(前年同四半期比19.0%減)となりました。

エンジニアリング&サービス事業は、受注高はほぼ前年並みの164億6百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。

売上高は、台湾と日本での半導体製造工場向け搬送設備工事や、官需向け電気設備工事の増加により、132億90百万円(前年同四半期比16.5%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加により営業利益は8億93百万円(前年同四半期は営業損失9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,265億21百万円となり、前連結会計年度末より8億円減少いたしました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が74億24百万円、現金及び預金が16億69百万円それぞれ減少したこと、棚卸資産が31億23百万円、投資有価証券が28億39百万円、有形固定資産が26億4百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は604億34百万円となり、前連結会計年度末より42億78百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が39億36百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は660億87百万円となり、前連結会計年度末より34億78百万円増加いたしました。これは、その他有価証券評価差額金が19億85百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が14億53百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年11月7日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は想定通りに推移しております。加えて、防衛力の抜本的強化に向けた取組が打ち出されていることから、航空機用電装品の需要増が期待されます。

さらに、半導体市場の縮小については底打ち感が見られ、世界各国の半導体サプライチェーンの強化に向けた政策支援や、生成AIのブレイクスルーによるAIアプリケーションの拡がりにより、半導体関連事業は再び成長軌道に戻ると予想しています。

中期経営計画「SINFONIA NEW STAGE 2024」において、半導体分野を成長ドライバーと位置づけ、半導体製造装置向け搬送機器の生産能力の増強を進めるとともに、新たな需要が期待される後工程の変化への対応や半導体製造装置用のロボット及びアクチュエータ等の開発に注力しており、当社グループのもう一段の業績拡大に結び付くものと考えております。

(注) 業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,494	7,824
受取手形、売掛金及び契約資産	37,331	29,906
商品及び製品	2,467	2,526
仕掛品	9,582	13,277
原材料及び貯蔵品	14,725	14,094
その他	777	795
貸倒引当金	△80	△82
流動資産合計	74,297	68,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,936	13,705
土地	14,619	15,130
その他（純額）	7,278	6,603
有形固定資産合計	32,834	35,439
無形固定資産	1,366	1,054
投資その他の資産		
投資有価証券	12,039	14,878
その他	6,913	6,930
貸倒引当金	△130	△123
投資その他の資産合計	18,822	21,685
固定資産合計	53,024	58,179
資産合計	127,321	126,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,820	16,884
短期借入金	7,360	9,170
1年内返済予定の長期借入金	2,981	2,987
未払法人税等	1,955	44
製品保証引当金	395	508
受注損失引当金	324	278
その他	12,255	9,419
流動負債合計	46,093	39,292
固定負債		
長期借入金	11,617	13,037
役員退職慰労引当金	123	—
役員株式給付引当金	100	137
環境対策引当金	8	—
退職給付に係る負債	3,056	3,065
その他	3,712	4,900
固定負債合計	18,619	21,141
負債合計	64,713	60,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,156	10,156
資本剰余金	452	452
利益剰余金	40,242	41,696
自己株式	△1,955	△1,956
株主資本合計	48,896	50,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,933	7,918
繰延ヘッジ損益	△3	△18
土地再評価差額金	3,913	3,913
為替換算調整勘定	683	995
退職給付に係る調整累計額	3,185	2,929
その他の包括利益累計額合計	13,712	15,738
純資産合計	62,608	66,087
負債純資産合計	127,321	126,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	71,656	68,619
売上原価	54,229	52,494
売上総利益	17,426	16,125
販売費及び一般管理費	11,382	11,490
営業利益	6,044	4,634
営業外収益		
受取利息及び配当金	324	359
為替差益	251	261
その他	106	110
営業外収益合計	682	732
営業外費用		
支払利息	105	112
その他	110	98
営業外費用合計	216	210
経常利益	6,510	5,155
特別損失		
事業整理損失	—	123
特別損失合計	—	123
税金等調整前四半期純利益	6,510	5,031
法人税等	1,882	1,450
四半期純利益	4,628	3,580
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,628	3,580

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,628	3,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	1,985
繰延ヘッジ損益	—	△15
為替換算調整勘定	333	311
退職給付に係る調整額	△169	△255
その他の包括利益合計	70	2,025
四半期包括利益	4,698	5,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,698	5,606
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	クリーン 搬送 システム	モーション 機器	パワー エレクトロ ニクス機器	エンジニア リング &サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	21,521	26,357	12,373	11,403	71,656	—	71,656
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	193	394	3,224	3,812	△3,812	—
計	21,521	26,551	12,767	14,628	75,468	△3,812	71,656
セグメント利益 又は損失 (△)	4,693	1,278	183	△9	6,146	△101	6,044

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	クリーン 搬送 システム	モーション 機器	パワー エレクトロ ニクス機器	エンジニア リング &サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,721	25,291	14,316	13,290	68,619	—	68,619
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	128	598	3,408	4,136	△4,136	—
計	15,722	25,420	14,915	16,698	72,756	△4,136	68,619
セグメント利益 又は損失 (△)	2,250	1,346	148	893	4,639	△5	4,634

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

2024年3月期〔2023年度〕 第3四半期決算補足説明資料(連結)

2024年2月7日
シンフォニアテクノロジー株式会社

1. 決算概要

(単位:百万円)

		2022年度	2023年度	前年同期比増減	
		第3四半期累計(A)	第3四半期累計(B)	(B)-(A)	増減率
売上高		71,656	68,619	△ 3,036	△ 4.2 %
営業利益	(%)	8.4%	6.8%	△1.6pt	
		6,044	4,634	△ 1,410	△ 23.3 %
経常利益	(%)	9.1%	7.5%	△1.6pt	
		6,510	5,155	△ 1,354	△ 20.8 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(%)	6.5%	5.2%	△1.3pt	
		4,628	3,580	△ 1,047	△ 22.6 %

2. セグメント別情報

(1) 売上高・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度	2023年度	前年同期比増減	
		第3四半期累計(A)	第3四半期累計(B)	(B)-(A)	増減率
クリーン搬送システム	売上高	21,521	15,721	△ 5,799	△ 26.9 %
	営業利益	4,693	2,250	△ 2,442	△ 52.0 %
モーション機器	売上高	26,357	25,291	△ 1,066	△ 4.0 %
	営業利益	1,278	1,346	68	5.4 %
パワーエレクトロ ニクス機器	売上高	12,373	14,316	1,942	15.7 %
	営業利益	183	148	△ 34	△ 19.0 %
エンジニアリング& サービス	売上高	11,403	13,290	1,886	16.5 %
	営業利益	△ 9	893	903	-
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	△ 101	△ 5	96	-
合計	売上高	71,656	68,619	△ 3,036	△ 4.2 %
	営業利益	6,044	4,634	△ 1,410	△ 23.3 %

(2) 受注高

(単位:百万円)

	2022年度 第3四半期累計(A)	2023年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
クリーン搬送システム	22,759	14,604	△ 8,155	△ 35.8 %
モーション機器	29,766	29,646	△ 119	△ 0.4 %
パワーエレクトロニクス機器	24,472	18,605	△ 5,867	△ 24.0 %
エンジニアリング&サービス	16,221	16,406	185	1.1 %
合計	93,219	79,263	△ 13,956	△ 15.0 %

(3) 受注残高

(単位:百万円)

	2022年度 第3四半期累計(A)	2023年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
クリーン搬送システム	10,516	6,820	△ 3,696	△ 35.1 %
モーション機器	35,000	39,565	4,565	13.0 %
パワーエレクトロニクス機器	30,698	34,991	4,293	14.0 %
エンジニアリング&サービス	13,000	13,204	204	1.6 %
合計	89,215	94,582	5,366	6.0 %

3. 海外売上高

(単位:百万円)

	2022年度 第3四半期累計(A)	2023年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
海外売上高	20,603	19,967	△ 635	△ 3.1 %
海外売上高比率(%)	28.8%	29.1%	0.3pt	

4. 設備投資、減価償却費及び研究開発費

(単位:百万円)

	2022年度 第3四半期累計(A)	2023年度 第3四半期累計(B)	前年同期比増減 (B)-(A)	増減率
設備投資	4,017	4,744	727	18.1 %
減価償却費	2,382	2,568	186	7.8 %
研究開発費	2,800	2,490	△ 310	△ 11.1 %